

葛川をきれいにする会  
—活動記録集—

第5号

(平成19年4月～平成20年3月)



葛川をきれいにする会編集委員会

「葛川をきれいにする会」活動記録集・第五号

目次

	頁
○ まえがき 代表 小林 弘	1
○ 葛川憲章	2
○ 平成19年度「葛川をきれいにする会」活動記録	3
○ 平成19年度「葛川をきれいにする会」作業報告書N01	4
○ 平成19年度「葛川をきれいにする会」作業報告書N02	5
付記 門闌光次氏手記 (葛川が教えてくれた事)	
○ 平成19年度「葛川をきれいにする会」活動報告 写真その一	6
○ 平成20年度「葛川をきれいにする会」活動報告 写真その二	7
○ 平成21年度「葛川をきれいにする会」活動報告 写真その三	8
○ 平成19年度不法投棄(平常・一斉)取締実施結果表(葛川)	9
資料提供「二宮町役場・環境課」	
○ 第六回定期総会 議事録	10
○ 平成19年6月定例会 議事録	11
○ 平成19年9月定例会 議事録	12
○ 平成19年12月定例会 議事録	13
○ 平成20年3月定例会 議事録	14
○ 水質調査 平成20年2月24日写真	15
付記守屋隆治氏手記	
○ 葛川等の水質検査 図表 1	16
○ 葛川等の水質検査 図表 2	17
○ 平成19年5月30日 葛川水系 水質測定記録	18
○ 平成19年8月14日 葛川水系 水質測定記録	19
○ 平成19年11月29日 葛川水系 水質測定記録	20
○ 平成20年2月24日 葛川水系 水質測定記録	21
○ 「葛川をきれいにする会」会則 イ	22
○ 「葛川をきれいにする会」会則 ロ	23
○ 「葛川をきれいにする会」会則 ハ	24
○ 「葛川をきれいにする会」会員名簿	25
○ 関係先 住所録	26
○ 平成20年度葛川清掃スケジュール及び総会・定例会日程	27
○ 葛川清掃100回記念講演会 写真集	28
○ 葛川清掃101回記念講演会 出席者と朝日新聞の記事	29
○ 葛川の水源を訪ねて	30
○ 葛川(二宮町内)にかかる名前の付いた橋....地図	31
○ 葛川に架かる橋その一 N01田端橋~N07新西谷戸橋	32
○ 葛川に架かる橋その二 N08清水橋~N014万年橋	33
○ 奥付	34

～ ま え が き ～

当会の定期の清掃が100回に至った。平成13年10月、会創設、第1回目の葛川清掃を9名で実行してから、足掛け8年目である。大きな河川の堤防清掃などを、住民組織や行政が、大勢の人々を集めて華々しくおこなっている様子を、時に新聞やテレビなどの記事、放映で目にすることがある。三百人余の人々が参加してあたれば、葛川は、全箇所の手清掃を一気に行うことが出来るであろう。これが、年に数回実施できれば葛川は、今より、ずっと、きれいになるに違いない。

当会の先輩会員の方々は、当初から当会の門戸を開き、盛んに参加を呼び掛けて参ったときているが、残念なるかな『盛会』には至っていない。『回数』のみ増加した。

当会の1回の清掃時、参加者は多い時で17名か18名の方々、少ない場合は6,7名の方々。そして、拾うゴミは無くならない。まさに、二宮町内の葛川の流れを、現状の如くに保っているのは、会員の方々の見事な心ねと、その継続にこそあるようだ。

二宮中学校の総合学習の一端で、生徒の取材、質問を受けることがある。

『どうして このような活動をしているんですか』

『どうして 葛川にゴミがあるんですか』

中学生ともなると、的を得た質問をするものだ、と感心しながら答弁するのであるが、後段の項の質問は、二宮町民全員にきいてみたいとさえ思う。

定期の清掃を100回も、8年間も継続して取り組んできた活動は、会員お一人、お一人の、人間の特性たる理性の発露によるもので、歴代会員84名の方々に深甚なる敬意を表すものであります。中学生の前後の質問へは、この気持ちを含めてお答えいたしました。

平成20年3月吉日

代表 小林 弘

# 葛川憲章

1. 葛川を蘇らせるための清掃とあわせて、町民の「川をきれいにする」という意識を育みます。
2. 失われつつある葛川の自然環境の復元と水質保全をはかります。
3. 「水のある風景」としての葛川を守るために街並みや景観の保全に努めます。
4. 誰でもが水遊びのできる、きれいで安全な川としての親水性を考えます。
5. 「川は財産」と考え、町民に広く呼びかけて基金を設立し、維持管理など財産をまもるための活動を支えます。

## 平成19年度「葛川をきれいにする会」活動記録

年・月・日	内容	備考	
2007年4月7日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 4月21日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 4月14日	第六回定期総会	詳細 別紙掲載	
// 5月5日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 5月26日	二宮海岸ゴミ〇運動参加	梅沢海岸 3名参加	
// 5月27日	助成金説明会参加	社会福祉センター・代表。事務長参加	
// 5月30日	葛川水系 水質調査	詳細 別紙掲載	
// 6月2日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 6月9日	定例会	詳細 別紙掲載	
// 6月16日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 6月17日	助成金プレゼンテーション	ラディアン・代表。事務長参加	
// 6月24日	二宮町まちづくりボランティア 連合会・交流会	湘南二宮・ふるさと炭焼会作業場にて (二宮町一色)	
// 7月21日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 8月12日	ヤオハン二宮店にて展示会	写真掲載	
// 8月14日	葛川水系 水質調査	詳細 別紙掲載	
// 9月1日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 9月8日	定例会	詳細 別紙掲載	
// 9月15日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 10月6日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 10月20日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 11月3日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 11月17日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 11月29日	葛川水系 水質調査	詳細 別紙掲載	
// 11月28日	二宮町まちづくりボランティア 連合会・展示会	写真掲載 11月30日までラディアンにて	
// 12月8日	定例会	詳細 別紙掲載	
// 12月15日	臨時役員会	清掃100回記念祝賀行事打ち合わせ	
2008年1月19日	臨時役員会	清掃100回記念祝賀行事打ち合わせ	
// 1月27日	清掃100回記念祝賀会	詳細 別紙掲載 (写真・朝日新聞掲載記事収録)	
// 2月24日	葛川水系 水質調査	詳細 別紙掲載	
// 3月1日	葛川清掃	詳細 別紙掲載	
// 3月8日	定例会	詳細 別紙掲載	

平成 19 年度「葛川をきれいにする会」作業報告書 NO1

NO	通算	年・月・日・時間	場所	参加者	作業内容等 単位・袋
1	88	平成19年4月7日 9:30~11:00	田端橋下~ 下北根橋	14名 大人7名 学生7名	可燃物 4 袋・ビン・ガラス1袋・ 金属缶1袋 「補足事項」鉄屑・一山 その他
2	89	平成19年4月21日 9:30~11:45	下北根橋 ~前田橋	15名 大人12名 学生3名	可燃物 16 袋・金属缶 1 袋 ガラス・ビン2袋 <u>ゴミ多し</u> 「補足事項」 鉄屑三山 その他
3	90	平成19年5月5日 9:30~11:00	前田橋~ 新西谷戸橋	15名 大人 10 名 学生5名	可燃物 10 袋・金属缶 1 袋 ガラス・ビン1袋 「補足事項」 五山
4	91	平成19年5月 19 日 <i>雨天作業中止</i>	小田厚道下 ~葛川橋		
5	91	平成 19年6月2日 9:30~11:45	小田厚道下 ~軒吉橋	9名 大人6名 学生3名	可燃物4袋・金属缶3袋 ビン・ガラス2袋・ 電池・陶磁器各 1 袋.. 「補足事項」 発砲スチロール箱
6	92	平成19年6月16日 9:30~11:00	軒吉橋~ 万年橋	15 名 大人 10 名 学生 5 名	可燃物 5 袋 金属缶 1 袋 ビン・ガラス2袋 「補足事項」鉄屑・一山 電池1袋
7	93	平成19年7月7日 <i>雨天作業中止</i>	万年橋~ 妙見橋		
8	93	平成19年7月21日 9:30~11:30	万年橋~ 花月橋 2区間清掃	11名 大人11名	可燃物 10 袋 金属缶・金属片 8 袋 ビン・ガラス 2 袋・ 「補足事項」大きな金属多数
9	94	平成 19年9月1日 9:30~11:00	花月橋~ 内輪橋	21名 大人 16 名 学生 5 名	可燃物 12 袋・金属缶1袋 ビン・ガラス2袋 「補足事項」電池等4袋 その他
10	95	平成19年9月15日 9:30~11:00 ヤオハン応援9名	内輪橋~ 新田橋	21名 大人 18 名 学生 3 名	可燃物 9 袋・金属缶 6 袋・ ビン・ガラス 2 袋 電池 1 袋 「補足事項」タイヤ 金属片一山
11	96	平成 19 年10月 6 日 9:30~11:00	新田橋~ 鍛冶屋橋	11名 大人 11名	可燃物 12 袋・金属缶1袋+一山 ビン・ガラス1・1 袋
12	97	平成 19 年10月 20 日 9:30~11:00	鍛冶屋橋 ~塩海橋	10名 大人 7 名 学生 3 名	可燃物 7 袋・金属缶1袋+一山 ビン・ガラス 1 袋 「補足事項」大きなウレタン 3 枚
13	98	平成 19 年 11 月 3 日 9:30~11:30 *ゴミ多し	塩海橋~ 下浜橋	16名 大人 13 名 学生 3 名	可燃物12袋 金属缶2袋+一山 ビン・ガラス 1 袋 バッテリー ポリバケツ 古い大きな麻袋

## 平成19年度「葛川をきれいにする会」作業報告書 NO 2

NO	通算回数	年.月.日.時間	場所	参加者	作業内容：数字単位・袋「45L」
14	99	19年11月17日 9:30~11:30	下浜橋~ 町境	15名 大人10名 学生5名	可燃物 11 ・ビン・ガラス 1 金属缶 4 ・電池 1 古い自転車 1台 袋に入らない金属 一山
15	100	20年3月1日 9:30~11:30	清水橋~ 新西谷戸橋	11名 大人10名 子ども1名	可燃物 5 ・陶器・ガラスビン 1 金属缶 2 袋に入らない金属多数
16	101	20年3月15日	小田原下~ 清水橋	14名 大人11名 高校生3名	可燃物 5 ・陶器・ガラスビン 各 1 金属缶 2 袋に入らない金属多数 桜の枝

相模原市から参加して頂いている門間光次氏の寄稿文

### 葛川が教えてくれた事

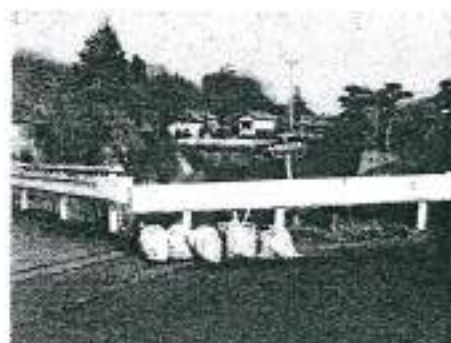
門間光次

平成19年6月に神奈川県環境科学センターで行なわれた「環境学習実践者研修」を受けた際、「葛川をきれいにする会」のお話を聞きました。川のゴミ拾いという地味な活動を、6年続けていると聞き興味を持ちました。どのような活動なのか一度体験してみようと思い、7月の2回目の清掃に参加しました。それまでは、葛川という川も、二宮という町も知りませんでした。二宮と言う駅は、小田原辺りに有ると思っていました。ごめんなさい。

初めて長靴で葛川へ降りてみたら深いところが多く、岸辺をうろうろするだけで終わってしまいました。引き上げたゴミを仕分けながら、いろいろなゴミが有るものとあきれると同時に感心しました。この感想は今でも変わりません。

相模原市から、電車を乗り継いで二宮へ通って半年経ちました。通う理由は葛川をきれいにしたい訳ではありません。見ず知らずの無責任な人が捨てたゴミを、何の気負いもなく淡々と捨てる人達に会いたくて通っています。世の中には、ボランティアと称する団体が沢山あります。私もその幾つかに参加して、「知る事」の大切さを学んできました。しかし、もっと大切な事は「する事」だと葛川で教わりました。汚い川が嫌だったら、取りあえず自分で捨てるしかないのです。とは言え、こうした活動を100回も続けるのは並大抵な事ではありません。改めて「葛川をきれいにする会」は面白い会だと思います。

平成 19 年度「葛川をきれいにする会」活動報告 写真 その一



A



B



C



D



E



F



G



H



I

- 説明 A 平成 19 年 4 月 7 日 田端橋～下北根橋間清掃 ゴミ集積場所 上北根橋  
 B 平成 19 年 4 月 21 日 下北根橋～前田橋間清掃 ゴミ集積場所 上北根橋  
 一色のホタル沢も清掃 空き缶等が非常に多かった  
 C.D.E. 19 年 5 月 5 日 前田橋～新西谷戸橋間清掃 ゴミ集積所 前田橋  
作業手順説明 川中のゴミを拾い→引き上げ→選別→集荷  
 F 平成 19 年 6 月 2 日 小田厚道路下～軒吉橋間 ゴミ集積場所 葛川橋・西友近く  
5 月 19 日は雨天中止・今日は二区間を清掃作業  
 G 平成 19 年 6 月 16 日 軒吉橋間～萬年橋 ゴミ集積場所 貝カ窪橋  
 H 平成 19 年 7 月 21 日 萬年橋～花月橋 ゴミ集積場所 妙見橋  
7 月 7 日は雨天中止・今日は二区間を作業した  
 I 平成 19 年 8 月 12 日 ヤオハン二宮店が  
 「葛川をきれいにする会」のパネルを展示



平成19年度「葛川をきれいにする会」活動報告 写真 その二



2-A



2-B



2-C



2-D



2-E



2-F



2-G



2-H



2-I



2-J

**説明** 2-A・B・C 19年8月14日

葛川の水質調査・9ヶ所で採水

Aは打越川源流

Bは田代川と葛川合流点

C・分析は平塚市の「神奈川県環境科学センター」

2-D・2-E 19年9月1日 花月橋～内輪橋間、8月は作業夏休み 今日から再開  
川中に倒れた木一本処分 ゴミ集積所 花月橋

2-F・2-G 19年9月15日 内輪橋～新田橋 ヤオハン二宮店の方々が応援にきて  
くださる。 ゴミ集積所 内輪橋

2-H・2-I 19年10月6日 新田橋～鍛冶屋橋 ゴミ集積場 新田橋

2-J 19年10月20日 鍛冶屋橋～塩海橋間、ゴミ集積所 こゆるぎ橋

平成 19 年度「葛川をきれいにする会」活動報告 写真 その三



3-A



3-B



3-C



3-D



清掃 100 回記念祝賀講演会・講師 野崎農学博士



坂本二宮町町長（創設時賛助会員）のお話

説明 3-A 19年11月3日 塩海橋～下浜橋間

ゴミ集積所 下浜橋 この間ゴミ多し

3-B 19年11月17日 下浜橋～町境

ゴミ集積所 下浜橋 この間ゴミ多し

3-C 19年11月28日～30日 二宮町まちづくりボランティア連合会活動報告展に出展  
会場ラディアン・展示コーナー

3-D 20年3月1日 清水橋～新西谷戸橋

ゴミ集積所 新西谷戸橋

\*葛川清掃 100 回記念講演会 平成 20 年 1 月 27 日・二宮町百合が丘児童館にて開催\*

平成19年度不法投棄（平常・一斉）取締実施結果表（葛川）

資料提出 二宮町役場 環境課

NO	実施日	不法投棄場所		区域（1）	加害者氏名	住所	区域の種別	面積（㎡）	容積（m³）	重量（kg）	種類	数量	その他	備考						
		種別	地名																	
1	4月9日	神辺橋～下北坂橋	河川	0.0300		県	河川	0.0300	0.0150	0.0110	燃焼済			燃ゴミ5袋・カン1袋・ビン1袋						
		下北坂橋～わんぱく橋	河川	0.0200		県	河川	0.0200	0.0150	0.0005	燃焼済			燃ゴミ4袋・カン1袋・PET瓶1袋						
2	4月23日	下北坂橋～花月橋～万年橋～長ヶ窪橋	河川	0.1950		県	河川	0.1950	0.0650	0.0400	燃焼済			燃ゴミ18袋・ビン2袋・カン3袋						
		花月橋～長ヶ窪橋	河川	0.0450		県	河川	0.0450	0.0180	0.0010	燃焼済			燃ゴミ8袋・ビン1袋・カン1袋						
3	5月7日	神辺橋～野ヶ窪橋～野志橋	河川	0.0900		県	河川	0.0900	0.0305	0.0195	燃焼済			燃ゴミ11袋・カン2袋・ビン1袋						
		野ヶ窪～野志橋	河川	0.0250		県	河川	0.0250	0.0030	0.0020	燃焼済			燃ゴミ2袋・カン1袋						
4	5月21日	神辺橋～小田原坂道	河川	0.0150		県	河川	0.0150	0.0120	0.0030	燃焼済			燃ゴミ2袋・カン1袋						
5	6月4日	神辺橋～野川橋～下北坂	河川	0.0650		県	河川	0.0650	0.0270	0.0380	燃焼済			燃ゴミ4袋・カン2袋・ビン1袋						
		下北坂～わんぱく橋	河川	0.0300		県	河川	0.0300	0.0260	0.0020	燃焼済	0.0020		燃ゴミ5袋・カン2袋・ビン2袋・電池1袋						
6	6月18日	神辺橋～長ヶ窪橋	河川	0.0900		県	河川	0.0900	0.0130	0.0040	燃焼済	0.0020		燃ゴミ5袋・カン1袋・ビン1袋・PET瓶1袋・PET瓶2袋・PET瓶2本						
		野志橋～赤水橋	河川	0.0050		県	河川	0.0050	0.0030	0.0010	燃焼済			燃ゴミ3袋・カン1袋・PET瓶1袋						
7	7月2日	竹見池	河川			県	河川													
8	7月9日	竹見池	河川	0.0005		県	河川	0.0005	0.0005					燃ゴミ2袋						
9	7月23日	神辺橋～砂野橋～野川橋～日ヶ窪橋	河川	0.1800		県	河川	0.1800	0.0280	0.0050	燃焼済			燃ゴミ11袋・カン6袋・ビン1袋						
		野川橋～野志橋～長ヶ窪橋	河川	0.0450		県	河川	0.0450	0.0180	0.0050	燃焼済	0.0200		燃ゴミ3袋・PET瓶1袋・PET瓶1袋・PET瓶1袋						
10	8月6日	神辺橋～わんぱく橋～砂野橋～赤水橋～日ヶ窪橋	河川	0.0500		県	河川	0.0500	0.0080	0.0040	燃焼済			燃ゴミ3袋・PET瓶1袋・カン1袋・ビン1袋						
11	8月20日	神辺橋～小田原坂道	河川	0.0250		県	河川	0.0250	0.0050	0.0180	燃焼済			燃ゴミ1袋・PET瓶1袋・カン3袋・ビン2袋						
12	9月3日	神辺橋～花月橋	河川	0.1250		県	河川	0.1250	0.1060	0.0180	燃焼済			燃ゴミ13袋・カン1袋・ビン1袋・ビン1袋・PET瓶1袋						
		下北坂～わんぱく橋	河川	0.0200		県	河川	0.0200	0.0100	0.0100	燃焼済			燃ゴミ3袋・カン2袋						
13	9月18日	神辺橋～赤水橋	河川	0.1050		県	河川	0.1050	0.0420	0.0150	燃焼済	0.0130		燃ゴミ8袋・PET瓶2袋・カン2袋・ビン1袋・PET瓶1袋・PET瓶1袋・PET瓶1袋・PET瓶1袋・PET瓶1袋・PET瓶1袋						
14	10月9日	神辺橋～新田橋	河川	0.0650		県	河川	0.0650	0.0440	0.0170	燃焼済			燃ゴミ5袋・PET瓶5袋・カン1袋・PET瓶1袋						
15	10月22日	神辺橋～一色～こゆるぎ橋	河川	0.0850		県	河川	0.0850	0.0340	0.0150	燃焼済			燃ゴミ13袋・カン1袋・ビン1袋・ビン1袋・PET瓶1袋						
		野志橋～野川橋	河川	0.0050		県	河川	0.0050	0.0020	0.0010	燃焼済			燃ゴミ3袋・PET瓶1袋・カン1袋・ビン1袋						
17	11月5日	下北坂～神辺橋	河川	0.1850		県	河川	0.1850	0.0450	0.0530	燃焼済			燃ゴミ・PET瓶8袋・カン3袋・ビン1袋・電池1袋						
18	11月19日	下北坂～赤水橋～長ヶ窪橋～万年橋	河川	0.1450		県	河川	0.1450	0.0210	0.0410	燃焼済			燃ゴミ3袋・PET瓶7袋・カン・ビン1袋・電池1袋						
		野志橋～万年橋	河川	0.0700		県	河川	0.0700	0.0240	0.0010	燃焼済	0.0150		燃ゴミ3袋・PET瓶1袋・カン1袋・PET瓶1袋						
19	12月3日	神辺橋～野志橋	河川	0.0300		県	河川	0.0300	0.0040	0.0080	燃焼済			燃ゴミ3袋・PET瓶4袋・ビン1袋・PET瓶1袋・PET瓶1袋						
		野志橋～野川橋～西谷戸橋	河川	0.0050		県	河川	0.0050	0.0010	0.0030	燃焼済			燃ゴミ3袋・PET瓶2袋・カン3袋・ビン1袋						
20	12月17日	神辺橋～新田橋～砂野橋～花月橋	河川	0.0200		県	河川	0.0200	0.0130	0.0040	燃焼済			燃ゴミ5袋・PET瓶6袋・カン1袋・ビン1袋						
計（葛川をきれいにする会）													1.2100	0.4765	0.1500	0.5470	0.0130	0.0235		
計（葛川不法投棄パトロール）													0.3905	0.1635	0.0335	0.1340	0.0060	0.0360	0.0150	0.0360

1.2100  
0.3905

葛川をきれいにする会 1.2100 (t) 葛川不法投棄パトロール 0.3905 (t)

## 第六回定期総会

開催日	平成19年4月14日 9:30~12.00		
場所	二宮町 社会福祉センター		順不同・敬称略
出席者	小林弘・政金顯・奈良淑子・藤田尚志・藤原幸子・佐藤準・向後孝明 今津義夫・ 是竹真太郎・宇田康平・川崎貴徳・橋本直樹・野谷 悦 桑田恒男・鏡味昭康・門脇義昭・田中 建・原 拓也 18名		
欠席通知者	宮田尚果・長谷川芳男・峯尾正昭・竹原繁男・田中克己・井手内清		
委任状提出	飛沢洋子・原 東三 ・池田 宏・原昭一・伊藤洋子・松岡史子・ 水谷英子・川上 清・小林 績 15名		
説会者	平野 安・ 横山信義・		
正会員	3月31日現在	33名	上記より総会成立
司会	事務局・門脇義昭		
議長選出	最初に新会員「鏡味昭康」様紹介 続いて出席者の自己紹介 満場一致で小林 弘様に依頼		
	1 議長挨拶		
	2 代表挨拶・ 向後 孝明氏		
	3 平成18年度 活動報告・一般 水質調査報告	事務局 門脇義昭 藤田役員	
	4 平成18年度会計報告.	藤原役員	
	5 会計監査.	政金監査役	
	6 19年度活動計画	事務局 門脇義昭	
	a 大筋は18年度と同じ 又清掃100回記念の行事を考える		
	b 会員の増強を真剣に考える 例--二宮高校等へのPR		
	7 19年度予算案	藤原役員	
	N01~N05まで一括討議 N06~N07	特に問題なく承認 作業用胸長 2着必要 サイズ注意 高橋副会長より体調の件あり作業用員を分割保管提案 桑田会員より学生会員の努力に報いる計画を考えること 等の問題提起があり次回定例会までに解決を考える	
	8 代表交代の件	向後様から永きに渡り代表を務めてきたがここで降りたいと 発言あり二代目代表に小林 弘様を満場一致で依頼する 役員改選は次期(平成20年総会です)	
	その他の報告	①ヤオハン黄色いレシートの件 ¥5.700 手続き近々事務局で行う ②4月8日にのみやまちづくりボランティア連合会「活動発表会」 に付き参加者の事務局門脇義昭より報告 参加5団体 全員で20名 [にのみやまちづくりボランティア連合会]には引き続き参加する 情報のソースとしても必要と桑田会員からのアドバイス ③ 向後孝明様の肩書きは「名誉代表」で全員一致	
	9 新代表の挨拶	小林 弘	

「葛川をきれいにする会」平成19年6月定例会

開催月日時間

6月9日(土) 9:30~

会場

二宮町社会福祉センター

敬称略・願不同 EX16

出席者

小林・藤田 向後・藤原・門脇

川崎・原 是竹・宇田・田中

(学生会員)

\* 開催に先立ち創設以来の会員石松一彦氏が5月14日亡くなられました享年84歳。冥福をお願致します

議事進行 事務局門脇

① 代表挨拶 小林

② 活動報告

A 清掃活動

4月7日 田端橋~下北根橋

参加者大人7名学生7名 計14名

事務局

6袋+金属①+他1

4月21日 下北根橋~前田橋

参加者大人12名学生3名 計15名

「うさぎ沢清掃」

新会員鏡珠氏参加

17袋+ガラス2+缶1+その他金属多し

5月5日 前田橋~新西谷戸橋

参加者大人10名学生5名 計15名

12袋+金属+PVC管+電線

5月19日 小田厚下~葛川橋

雨天中止

6月2日 葛川橋~軒吉橋予定

参加者大人6名学生3名

雨天中止の小田厚下~葛川橋間も清掃

8袋+電池+陶磁器+袋に入らない金属

B 水質調査

藤田役員 (別紙報告書参照)

C 会計報告

藤原役員 会費納入状況

正会員17名 学生会員12名

賛助会員6名

その他の報告

D

神奈川県平塚土木事務所訪問

5月7日 報告・小林代表

E

海岸ゴミ〇運動参加

5月26日 報告・向後名誉代表

F

ボラ連関係

報告・事務局

参加団体

CAN熊沢代表 保育グループ、カンガルー清水代表 桐根クラブ、善波代表

葛川をきれいにする会、小林代表・地域の環境を良くする会、中村代表

まちづくり湘南二宮会、石井代表・湘南二宮、ふるさと炭焼会、松木代表

心豊かに生きる会、江戸代表・CS21湘南、竹原代表

湘南二宮ITクラブ・片岡代表 会費¥3,000 10団体

主な行事 各団体の活動・共同展示 チョボラの発行

各団体との合同懇談会・6月24日開催 報告・小林代表

G

平成18年度分 二宮町協働まちづくり補助金事業報告会

5月27日社会福祉センターで開催

報告・小林代表

なほ平成19年度→

補助金申請公開プレゼンテーションが6月17日開催されます

その他

記録集、門脇手元残13冊

6月2日作業現場で勧誘に1冊使用

5月25日環境課より部長3個ゴム長手袋5個岡部氏事務局に持参

6月2日高橋副会長に渡す

賛助会員対策 昨年までの会員に記録集持参

竹原氏・朝日新聞関係向後氏依頼

併せて今年も依頼

原氏=2名 小林氏依頼

伊藤氏・川上氏 門脇担当

「葛川をきれいにする会」平成19年9月定例会

文中・敬称略・順不同

開催月日時間 9月8日(土) 9:30~  
 会場 二宮町社会福祉センター  
 出席者 小林・向後・藤田・藤原・門脇

議事進行・事務局門脇

- ① 代表挨拶 小林
- ② 活動報告
- A 清掃活動 事務局
- 6月16日 軒吉橋～万年橋 大人10名・高校生5名  
 可燃物5・ビン、ガラス2・缶1  
 金属1・電池1
- 7月7日 万年橋～妙見橋 雨天のため中止
- 7月21日 妙見橋～花月橋 大人11名・相模原市より門脇氏参加  
 \*7月7日出来なかつた可燃物、10・ビン、ガラス2・缶8  
 区間もやった\* その他袋に入らぬ金属多数
- 9月1日 花月橋～内輪橋 大人16名・子ども5名  
 可燃物、12・ビン・ガラス2・金属缶、1  
 電池1・長尺塩ビパイプ1・鉄棒2  
川の中の桜木1本伐採

- B 水質調査 藤田役員(別紙報告書参照)
- C 会計報告 藤原役員

- その他の報告
- D 平成19年度 補助金申請公開プレゼンテーション  
 6月17日開催 報告・小林代表
- E ポラ連親睦会 6月24日催行 報告・小林代表
- F ヤオハン「黄色いキャンペーン」 砂糖頂き会員にお届けする  
 事務局
- G ヤオハンで展示会 8月12日 事務局

3.検討議題 清掃100回記念行事について 皆様のご提案をお願致します

- 開催月 2008年1月を目安に  
 場所 百合が丘児童館を交渉  
 開催規模 内輪を主に+外部  
 講師 A--藤田氏依頼 B--向後氏  
 予算 9万円を目安に

4.今後の予定 11月28日～11月30日 ポラ連展示会  
 ラディアンにて

5.その他 名簿の整理—記念行事に併せて 事務局で準備  
 向後氏に補足していただく

会場2008年1月27日11:00～15:00百合が丘児童館確保  
 会場費¥1,200、 70名収容

「葛川をきれいにする会」平成19年12月定例会報告書

敬称略・順不同

開催月日時間  
会場  
出席者

12月8日(土)9:30～

議事進行事務局・門脇

二宮町社会福祉センター

小林・向後・高橋・藤田 長谷川・奈良・門間・門脇

- ① 代表挨拶  
② 活動報告

A 清掃活動

事務局 写真参照

9月15日 内輪橋～新田橋 大人18名 子ども3名  
ヤオハン社員9名参加

10月6日 新田橋～鍛冶屋橋 大人11名

10月20日 鍛冶屋橋～塩見橋 大人7名 子供3名

11月3日 塩海橋～下浜橋 大人13名 子供3名

11月17日 下浜橋～町境 大人10名 子供5名

B

水質調査 藤田役員

(別紙報告書参照)

C

会計報告 小林会長

予算で繰越金取り崩し→元に戻す

平塚土木事務所より¥136,500入金

その他の報告 D

平塚土木事務所訪問 11月15日 代表小林・事務局門脇

面会者 曾我主査 祝賀会講師は無理の様子

E

二宮町まちづくりボランティア連合会 報告・小林代表

活動展示会 見学者150名ぐらい

11月28日～30日 ラディアンにて開催

③.検討議題 F

清掃100回記念行事について

会員皆様へのご提案をお願致します

開催月日 2008年1月27日(日)12:30～

場所 百合が丘児童館確保

開催規模 内輪を主に+外部

講師 A→藤田氏依頼(野崎氏) B→向後氏

予算 9万円を目安に

講師 野崎氏(神奈川県環境科学センター・農学博士)

名簿の整理→記念行事に併せて \*ほぼ出来上がり\*

会場2008年1月27日11:00～15:00 百合が丘児童館確保

会場費¥1,200、70名収容

会員(学生・賛助・歴代の会員も含む)に案内状を正月につくように発送

二宮町役場 高橋・佐川部長・環境課・地域推進課・田中・高橋両氏 6名

平塚土木事務所2名 神奈川県環境科学センター1名(野崎)

2007/12/10 小林・門脇 各氏訪問依頼予定

学生会員への記念品(図書券)送る 小林代表が川崎君に連絡 7名

守屋君就職 お祝いを渡す(予算1万円) 藤田氏が連絡

G

「地域の環境を良くする会」よりの依頼 奈良・長谷川両会員説明

田代川のヘドロ対策→EM液の投入

富士見が丘3丁目高台からと 小林・向後・高橋・藤原(近々依頼予定)各家庭より

購入金額¥20,000前後 代表に一任

臨時役員会を出来るだけ早く祝典までに2回開催→開催日 小林代表に一任

「葛川をきれいにする会」定例会  
平成 20 年 3 月定例会報告書

司会 門脇義昭(事務局)  
文中 敬称略 順不同

開催日 2008 年 3 月 8 日(土) 9 時 30 分～11 時 30 分

会場 二宮町福祉センター

出席者 小林・向後・藤田・野谷・藤原・門脇 6 名

① 代表挨拶 小林 弘

② 活動報告 事務局 門脇

A 清掃作業 3 月 1 日 清水橋～新西谷戸橋 参加者 11 名(大人 10 子ども 1)

B その他 清掃 100 回記念講演会(1 月 27 日開催)

二宮町まちづくりボランティア連合会関係--2 月 2 日の講演会に協力)

③ 水質調査の報告 藤田担当役員 詳細は別紙平成 20 年 2 月 24 日参照

初参加の 大塚 恵さん とその長女の大変分析に熱心であった  
大塚優夏さん(二宮小学校一年生)が話題の中心、又今回が最後の守屋氏と  
速水裕樹氏(守屋氏友人・日大大学院)の人柄の紹介話もありました。

④ 会計報告 藤原担当役員 特に問題は無く会計監査を待つ。

その他 ヤオハン「黄色いシート」申込み 小林代表

今津会員のこと 小林代表

\* 近々社会復帰が出来るとのこと \* 何よりでした

今後の予定

イ 清掃予定表 別紙 事務局 門脇 手分けして予定表を会員に届ける

ロ 葛川サミット表彰式 3 月 11 日 小林代表

ハ 会計監査 3 月 22 日 小林代表 政金氏は所用があり当日来れないので  
小林代表が自宅訪問して説明をする

ニ 総会関係 開催日 4 月 12 日 会場 二宮町社会福祉センター

9:30～12:00

引き続き

活動記録集 第五号 編集会議

原案 小林代表 向後初代代表に校正依頼 校正済

但し 原稿不足数点 葛川等の水質検査…会計報告

守屋氏の感想文 門脇様の感想文(3 月 1 日依頼) 目次 及び 奥付

葛川に架かる橋は場合(枚数により)カットも---

製本 3 月 22 日 二宮小学校にて

参加して頂ける方 小林・向後・野谷・藤原・門脇 その他会員に声掛けする

プリントの関係があるので出来るだけ早日(3 月 11 日)に門脇が

原稿を野谷様に届ける



## 2008年2月24日 葛川・水質調査 「葛川をきれいにする会」

### 守屋会員・社会人に・学生時代最後の水質調査

参加者 藤田氏・守屋氏・速水氏(初参加、日大大学院生)大塚さん親子(小1のお嬢さん)・門脇



天候・晴れ

裏日本、強風吹き荒れる。朝方低温、日中溫暖

上段写真 田代川水源で採水

藤田・守屋氏と大塚優夏さん「二宮小学校一年生」

下段左 飯沼橋～萬年橋間で採水

下段右写真・田代橋上流で採水と水中生物の調査

左から藤田・速水・守屋の各氏

小さなアブラハヤが数匹網にかかった



### 葛川をきれいにする会に参加して

守屋 隆治

葛川をきれいにする会に参加してから7年目となりました。初めて参加したときは高校3年生の夏休みの時です。私が高校でいつも通っていた道は、景色が良く、川がきれいで大好きでしたが、ゴミの廃棄が目立ち、これがなければいつも思っていました。たまたま見た会報で、ゴミ掃除のボランティアがあると知ったのが会に参加したきっかけです。初対面の私に、向後さんをはじめ会に参加されていた方々が温かく接してくれていたのを覚えています。

最初の頃は、現在に比べ川の臭いがひどく、汚れもあり、大きなゴミも目立っていましたが、年々ゴミの量が減り、川のおいしさや汚れがなくなるととてもうれしいです。清掃後の川はゴミがなくとてもきれいで、やりがいを感じます。葛川の会で会う人は、それまで出会わなかった素晴らしい方々ばかりで、清掃活動の他にも、定例会や水質調査活動、行事などがあり、多くの出会いや学ばされることがあり、とても楽しかったです。

水質調査活動においては、環境科学センターの分析や生物調査を行いました。大学院の湧き水の研究において、葛川の会の水質調査の体験がものすごくためになりました。

葛川をきれいにする会があったから、この7年間私が貴重な体験が出来ました。もし一人でやろうとしても出来なかったと思います。葛川の会で沢山のひとたちと知り合えたことが今の自分の財産です。

私が会に参加し続けていけたのは、未熟な私を温かく接してくれた葛川の会の皆さまがいたからです。葛川をきれいにする会が7年間におよび長期に渡ってあることに感謝しています。それも発足から現在に至るまで、会に携って来ていただいた方々のおかげです。本当にありがとうございます。

# 葛川等の水質検査

葛川をきれいにする会

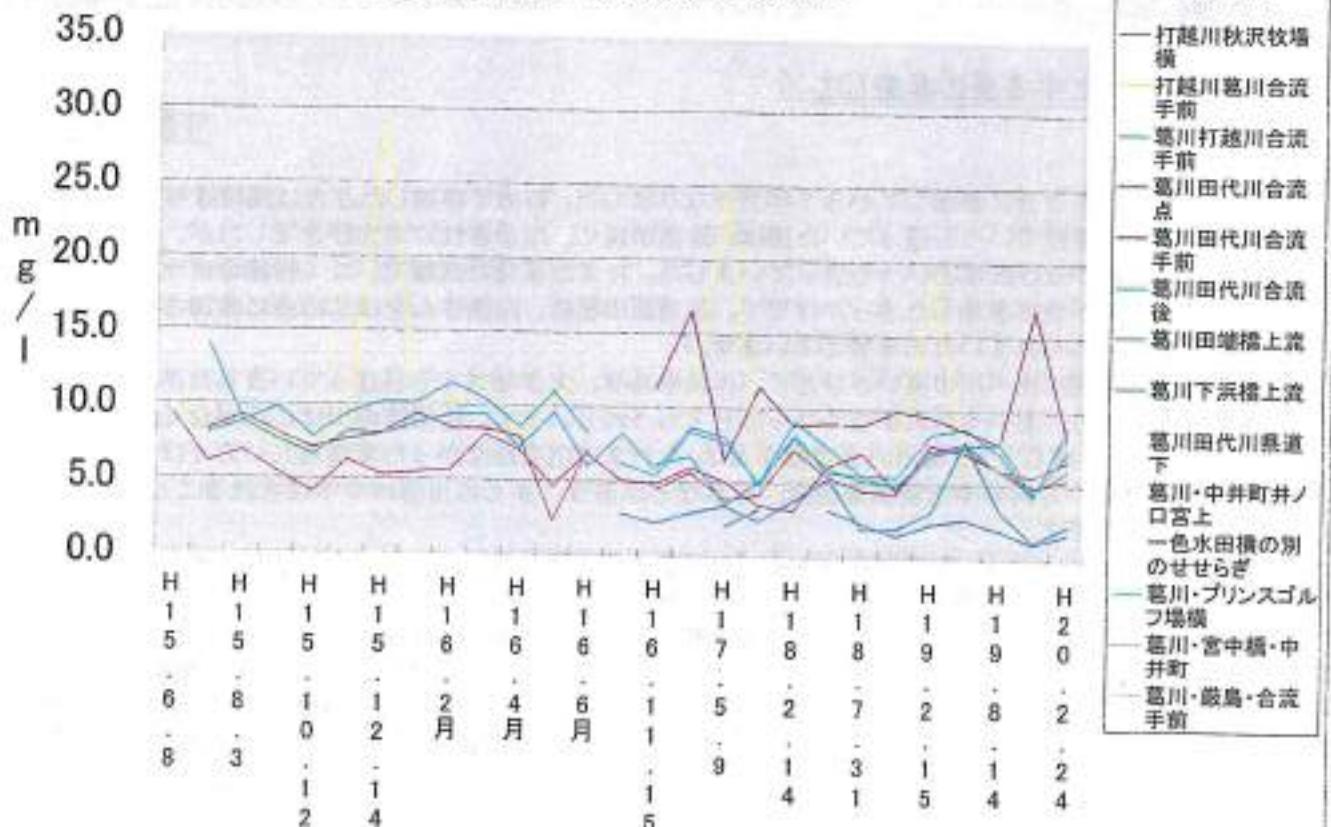
COD (化学的酸素要求量) mg/l

場所	H15.6.8	H15.7.8	H15.8.3	H15.9.2	H15.10.12	H15.11.9	H15.12.14	H16.1.18	H16.2.20	H16.3.18	H16.4.18	H16.5.18	H16.6.18	H16.8.3	H16.11.5	H17.2.8	H17.5.9	H17.10.4	H18.2.14	H18.5.27	H18.7.31	H18.10.6	H19.2.15	H19.5.30	H19.8.14	H19.11.9	H20.2.24	
0 一色水田横														3.2			2.9	3.2		3.2	2.3	1.5	2.3	2.6	1.3	1.6	1.7	
1 打越川秋沢牧場横	9.2	6.0	6.8	5.4	4.0	6.2	5.2	5.4	5.6	8.0	7.0	4.6	6.8	5.0	4.8	5.9	5.0	3.4	3.1	6.1	7.0	4.5	7.6	7.1	8.0	4.8	5.4	
2 打越川葛川合流手前	9.7	8.2	8.6	7.4	6.8	9.0					7.8				5.8	9.8		4.7	7.2	6.6	5.1	6.8		6.3	6.1	4.3	6.6	
3 葛川打越川合流手前	8.0	8.8	7.6	6.6	8.2	8.0	8.8	9.4	9.4	7.2	9.6	6.0			8.2	5.8	8.7	8.0	4.8	8.3	5.7	5.6	5.5	8.4	8.8	7.1	4.2	8.9
4 葛川田代川合流点															3.2	3.6	6.4	11.1	8.8	9.0	8.9	9.9	9.5	8.6	7.7	10.9	8.0	
5 葛川田代川合流手前	8.2	9.2	8.0	7.0	7.6	8.0	9.4	8.4	8.4	7.9	2.5	7.0			4.4	5.6	3.8	4.1	7.2	5.4	4.5	4.3	7.2	7.8	5.9	5.5	6.6	
6 葛川田代川合流後		11.1	8.8	9.8	7.8	9.4					8.6	10.1	8.2		6.2	6.7	3.5	5.1	8.0	6.0	5.2	5.0	7.0	7.5	5.9	4.6	6.0	
7 葛川田端橋上流														2.8	2.2	2.5	3.4	2.1	3.8	5.3	1.9	2.0	3.1	7.9	3.2	1.1	2.3	
8 葛川下浜橋上流														6.2	5.4	8.4	7.6	5.0	9.2	7.4	5.5	4.8	7.0	7.7	7.8	4.4	7.3	
9 葛川田代川県道下																				8.7	9.4							
10 葛川・中井町井ノ口宮上																												
11 一色水田横の別のせせらぎ																							1.2					
12 葛川・プリンスゴルフ場横																												
13 葛川・宮中橋・中井町																												
14 葛川・巖島・合流手前																											10.1	
15 田代川河津																											3.7	

BOD数値との対応等から葛川会が独自に設定したCOD値の判断基準

3以下 ■ きれい  
10以上 ■ きたない

CODによる水質測定結果 葛川をきれいにする会調べ





平成 19年 5月 30日 葛川水系 水質測定記録

葛川をきれいにする会

採取年月日 2007.5.30

天候 くもりのち雨

参加者 守屋隆治、藤田尚志

採取場所	0	1	2	3	4	5	6	7	8
採取時間	10:33	9:43	11:13	11:15	11:40	11:43	11:37	9:59	11:58
水深 cm	8	13	8	10	4	9.5	15	26	22
水温 ℃	14.5	19.5	20	20	20.5	20	20	19	20.5
泥深さ cm	2	0	0	0	6	0	0	0	0
汚泥の状態	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臭気	なし	なし	なし	なし	あり	少し	少し	なし	なし
水の濁り									
水生生物	カワニナ ザリガニ カワゲラ ヒル ブラナリア ガガンボ オニヤンマ コ	—	—	ヨシホリ 赤色ユスリカ コカゲロウ ミズムシ ヒル	—	—	—	アブラハヤ ヨシホリ シマビゲラ ミズムシ ヒゲナガカワ トビゲラ サカキガイ トビゲラ コカゲロウ 赤色ユスリカ	—

採取場所 0 一色水田横・せせらぎ  
1 秋沢牧場横・打越川  
2 打越川・葛川合流手前  
3 葛川・打越川合流手前  
4 田代川・葛川合流手前

5 葛川・田代川合流手前  
6 葛川・田代川合流後  
7 葛川・田端橋上流  
8 葛川・下浜橋上流  
9 葛川・プリンスゴルフ場横

測定年月日 2007.5.30

参加者 守屋隆治、藤田尚志、(野崎隆夫)

神奈川県環境科学センター

採取場所	0	1	2	3	4	5	6	7	8
サンプル量 cc	100	100	100	100	100	100	100	100	100
滴定量 cc	2.21	4.43	4.04	5.31	5.20	4.77	4.89	2.28	4.60
補正滴定量 cc	1.32	3.54	3.15	4.42	4.31	3.85	4.00	1.52	3.84
COD	2.64	7.08	6.30	8.84	8.62	7.76	8.00	3.04	7.88
PH	7.29	7.50	7.44	7.48	7.66	7.57	7.46	7.92	7.59
導電率	0.221	0.392	0.547	0.392	0.474	0.455	0.454	0.356	0.436
ブランク 滴定量cc	0.89						0.76		
	↑ 1回目						↑ 2回目		

COD計算式

$$\text{CODMn} = (a-b) \times f \times 1000 / V \times 0.2 \quad (\text{COD単位は mg/l})$$

a: 滴定に要した5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液(ml)

b: 空試験に要した5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液(ml)

f: 5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液ファクター(市販品はほぼ1)

V: 試料 (ml)

0.2: 5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液 1mlの酸素相当量(mg)

●5月下旬の天候が安定していた時で晴れが5日続いた。水量はやや少な目であった。

●COD値は比較的高めであったが、逆に測定点④の田代川・葛川合流手前は以前に比較して見た目にきれいで、COD値も以前より低かった。

●前2回、PHが7を下回ったところがあったが今回は全て7台であった。

●水生生物調査は3ヶ所で実施した。葛川・田端橋上流で採取したヒゲナガカワトビゲラはきれいな川に棲む生物で葛川程度の小さい川で見つかるのは珍しいとのことであった。

平成19年8月14日 葛川水系 水質測定記録

葛川をきれいにする会

月日 2007.8.14(火)

天候 快晴

参加者 守屋隆治、藤田尚志、川崎貴徳、宇田康平  
小林 弘、門脇義昭、長谷川芳男

採取場所	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
採取時間	11.16	10.48	10.1	10.15	9.22	9.3	9.17	11.4	12.08		
水深 cm	7	15.5	18	14	8	11	22	28	14	-	
水温 ℃	20	26.5	25	27	24	26	26	27	30.2	-	
泥深さ cm	0	0	0	0	9	0	0	0	0	-	
汚泥の状態	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
臭気	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし		
その他											
水生生物	カワニナ サワガ ニ オニヤ ンマヤゴ	ドジョウ 多数 タモロコ ヨシノボ リ ヤゴ	オイカワ 群れ	タモロコ 群れ			ヨシノボ リ 赤色ユ スリカ ヒル コガロウ		アブラハヤ 群れ	小魚群れ	

◎ : 採取場所

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 0 一色水田横         | 5 葛川・田代川合流点手前  |
| 1 秋沢牧場横         | 6 葛川・田代川合流後    |
| 2 打越川・葛川への合流点手前 | 7 葛川・田端橋上流     |
| 3 葛川・打越川への合流点手前 | 8 葛川・下浜橋上流     |
| 4 田代川・葛川への合流点手前 | 9 葛川・プリンスゴルフ場横 |

測定年月日 2007.8.14(火)

守屋隆治、藤田尚志、川崎貴徳、宇田康平 神奈川県環境科学センター  
小林 弘、門脇義昭、長谷川芳男、(野崎隆夫)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サンプル量 cc	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
滴定量 cc	1.9	3.95	4.01	4.5	4.82	3.91	3.91	2.41	4.68	
ブランク 滴定量cc	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.95	0.79	0.79	
補正滴定量 cc	0.95	3	3.06	3.55	3.87	2.96	2.96	1.62	3.89	
COD	1.9	6	6.12	7.1	7.74	5.92	5.92	3.24	7.78	
PH	7.18	7.87	8.1	7.72	7.73	7.7	7.71	8.18	8.06	
導電率	0.208	0.317	0.433	0.399	0.476	0.426	0.432	0.358	0.426	

COD計算式  $CODMn=(a-b)*f*1000/V*0.2$  (CODの単位は mg/l)

- a: 滴定に要した5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液(ml)  
b: 空試験に要した5mmol/l過マンガン酸カリウム溶液(ml)  
f: 5mmol/l過マンガン酸カリウム溶液ファクター(市販品はほぼ1)  
V: 試料 (ml)  
0.2: 5mmol/l過マンガン酸カリウム溶液 1mlの酸素相当量 (mg)

- 今回は会員対象に水質検査と水生生物調査の体験学習とした。7人が参加した。
- 8月に入って雨が降らず、記録的な猛暑の中での調査だった。
- お盆休暇の最中であり、雨が降らない割には水質悪くなかった。
- 至る所に小魚の群れが確認された。タモロコ、オイカワ、アブラハヤと思われる。昨年も確認されたが、今年の個体数は急増している。コイとの共存が確認された。
- 下浜橋で水温が30℃を超えた。初めてである。
- 川がきれいになったよ。暑い時川に入るんだ。オチイちゃんが見てくれるんだ。(花月橋で、小5、石川君)

平成19年11月29日 葛川水系 水質測定記録

葛川をきれいにする会

採取年月日 2007.11.29(木) 天候 曇り

参加者 守屋隆治、藤田尚志、門脇義昭、門間光次

採取場所	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11
採取時間	11:44	10:33	10:17	10:20	9:50	9:54	9:45	11:40	12:10	11:45	11:25
水深 cm	7	68	15	26	10	10	21	25	29	11	10
水温 ℃	11.7	13.2	13.9	12.5	13.2	12.3	12.3	13.4	12.4	16.2	14.7
泥深さ cm	-	-	-	-	砂 30cm	-	-	-	-	-	-
汚泥の状態	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
臭気	-	-	-	-	あり	-	-	-	わずか	あり	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水生生物	調査せず	調査せず	調査せず	調査せず	調査せず	調査せず	調査せず	調査せず	調査せず	調査せず	調査せず

◎：採取場所

- |                 |                |               |
|-----------------|----------------|---------------|
| 0 一色水田横         | 5 葛川・田代川合流点手前  | 10 葛川・宮中橋・中井町 |
| 1 秋沢牧場横         | 6 葛川・田代川合流後    | 11 葛川・巖島・合流手前 |
| 2 打越川・葛川への合流点手前 | 7 葛川・田端橋上流     |               |
| 3 葛川・打越川への合流点手前 | 8 葛川・下浜橋上流     |               |
| 4 田代川・葛川への合流点手前 | 9 葛川・プリンスゴルフ場横 |               |

測定年月日 2007.11.29(木) 守屋隆治、藤田尚志、門脇義昭、門間光次 神奈川県環境科学センター

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	11
サンプル量 cc	100	100	100	100	50	100	100	100	100	50	100
滴定量 cc	1.72	3.6	3.27	3.29	5.31	3.96	3.38	1.67	3.31	5.15	3.06
ブランク 滴定量cc	1.2	1.2	1.1	1.2	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.2
補正滴定量 cc	0.52	2.4	2.17	2.09	4.21	2.76	2.28	0.57	2.21	4.05	3.72
COD	1.04	4.8	4.34	4.18	16.84	5.52	4.56	1.14	4.42	16.2	3.72
PH	7.55	7.53	7.68	7.87	7.61	7.61	7.53	7.82	7.57	7.64	7.33
導電率	0.2	0.308	0.437	0.373	0.45	0.396	0.407	0.353	0.396	0.512	0.414

COD計算式  $COD_{Mn} = (a-b) \cdot f \cdot 1000 / V \cdot 0.2$  (CODの単位は mg/l)  
 a: 滴定に要した5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液(ml)  
 b: 空試験に要した5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液(ml)  
 f: 5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液ファクター(市販品はほぼ1)  
 V: 試料 (ml)  
 0.2: 5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液 1mlの酸素相当量 (mg)

- 一日中、雨の予報で、生物調査は止めて、水質調査だけにした。しかし、調査中は雨は降らなかった。
- 今回は、水質調査地点を2ヶ所増やした。葛川・宮中橋・中井町(源流近く)と葛川・巖島神社・合流手前。
- 測定点4・田代川・葛川合流手前におけるCOD値が高かった。前回(8月)は7.74に対し今回は16.84。
- 測定点4・田代川・葛川合流手前においてEM菌の効果を実験するためにヘドロ調査を11/28に実施した。
- 測定点10・葛川・宮中橋・中井町におけるCOD値も16.2と高かった。他場所に比べて水温も高く、家庭排水が原因となっていると予想。しかし、1km下流の葛川・巖島神社合流手前では3.72まで下がっており、水量もかなり増えていることから、湧水と自浄作用の結果と予想される。

平成20年2月24日 葛川水系 水質測定記録

葛川をきれいにする会

採取年月日 2008.2.24(日) 天候 晴 参加者 守屋隆治、藤田尚志、門脇義昭、速水裕樹  
大塚 恵、大塚優夏、大塚遥月

採取場所	0	1	2	3	4	5	6	7	8	12
採取時間	11:19	11:03	10:44	10:37	9:45	9:48	9:57	11:41	12:10	10:13
水深 cm	7	31	15	37	9	13.5	25	60	24	0.5
水温 ℃	7	9.5	11	8.5	6.6	7.5	7	11.5	8.5	10.5
泥深さ cm		8		3	4			3		
汚泥の状態										
臭気	なし	なし	なし	なし	少し	なし	なし	なし	なし	少し
その他										
水生生物							ヒル	アブラハヤ 3匹		

◎ : 採取場所

- |                 |                |               |
|-----------------|----------------|---------------|
| 0 一色水田横         | 5 葛川・田代川合流点手前  | 10 葛川・宮中橋・中井町 |
| 1 秋沢牧場横         | 6 葛川・田代川合流後    | 11 葛川・巖島・合流手前 |
| 2 打越川・葛川への合流点手前 | 7 葛川・田端橋上流     | 12 田代川・源流     |
| 3 葛川・打越川への合流点手前 | 8 葛川・下浜橋上流     |               |
| 4 田代川・葛川への合流点手前 | 9 葛川・プリンスゴルフ場横 |               |

測定年月日 2008.2.24(日) 守屋隆治、藤田尚志、門脇義昭、速水裕樹 神奈川県環境科学センター  
大塚 恵、大塚優夏、大塚遥月、(野崎隆夫)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	12
サンプル量 cc	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
滴定量 cc	1.59	3.44	4.07	5.23	4.76	4.07	3.91	2	4.39	1.82
ブランク 滴定量cc	0.76	0.76	0.76	0.76	0.76	0.76	0.88	0.88	0.76	0.88
補正滴定量 cc	0.83	2.68	3.31	4.47	4	3.31	3.03	1.12	3.63	0.94
COD	1.66	5.36	6.62	8.94	8	6.62	6.06	2.24	7.26	1.88
PH	7.56	7.69	7.74	7.55	7.51	7.35	7.51	8.18	7.73	8.08
導電率	0.211	0.33	0.405	0.334	0.455	0.352	0.379	0.335	0.359	0.662

COD計算式  $COD_{Mn} = (a-b) \times f \times 1000 / V \times 0.2$  (CODの単位は mg/l)

- a : 滴定に要した5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液(ml)
- b : 空試験に要した5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液(ml)
- f : 5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液ファクター(市販品はほぼ1)
- V : 試料 (ml)
- 0.2: 5mmol/l 過マンガン酸カリウム溶液 1mlの酸素相当量 (mg)

- 今回は、守屋さんの研究室から速水裕樹さん、松根の大塚恵さん親子3人が参加し、活気のある調査だった。
- 今回は、水質調査地点を1ヶ所増やした。田代川源流でEM液放流の影響を見る目的。
- 田代川源流(測定点12)は新幹線脇の排水管からの水であるが、暫く雨が降っていないので水量は少なかった。
- 田代川源流のCODは1.88と低いがpHが8以上で導電率が高いのは塩基性の電解質濃度が高いと思われる。
- 測定点4・田代川・葛川への合流手前でのCODは8で源流から500mほどでCODが急速に高くなっている。下水道につながっていない家庭雑排水の影響と推測されるが、3面がコンクリートになっていて浄化能力が伴っていないのが主原因と予想される。次回は中間地点でも調査したい。
- 葛川は濁りが見られ、CODも少し高めであった。特に測定点3・葛川・打越川合流手前ではCODが9近くあった。暫く雨が降っていないのが原因の一つ、他に何かあるかは不明。
- 水質調査を始めてから6年、守屋隆治さんが大学院を卒業し調査活動への参加は一区切り。

## 葛川をきれいにする会 会則

### (名称)

第1条 この会は、葛川をきれいにする会（以下「会」）という。

### (目的)

第2条 会は、主として葛川流域の環境の保全を計り、もって二宮町およびその周辺地域の良好な生活環境の維持・推進に寄与することを目的とする。

### (活動)

第3条 会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。  
(1) 葛川（その支流を含む。以下同じ）清掃・美化。  
(2) 葛川の水質改善、水生動物調査、水質調査、  
(3) 葛川の環境保全に関する学習および環境保全意識の普及  
(4) その他会の目的を達成するために必要な活動

### (事務局)

第4条 会の事務局は、副代表宅に置く。

### (会員)

第5条 会の会員は、正会員、賛助会員、準会員並びに家族会員を以って構成する。  
(1) 正会員は、本会の目的に賛同して、ボランティアとして活動する者とする。  
(2) 賛助会員は、本会の目的に賛同し、支援協力する個人・事業者・団体等とする。  
(3) 準会員は、本会の目的に賛同し、会の活動に自由参加するボランティアとする。  
(4) 家族会員は、一家族で複数名参加する場合、会費を払った者は正会員となり、それ以外の家族は家族会員とする。取り扱いは準会員に準ずる。  
(会費の徴収はしない、会員名簿に記載されない。)  
(5) 第6条に定める会費を、当該年度5月末日までに納入のない会員は、前年度末日を以って退会したものとす。

### (会費)

第6条 会費は年額とし、正会員および賛助会員は、次に定める会費、賛助会費（以下「会費等」という）を支払う  
(1) 正会員 会費 年額 2,000円  
(2) 賛助会員 賛助会費 一口 1,000円とし、年額一口以上  
会費等は、毎年4月に一括して支払う。ただし、活動年度の途中で入会した者は、入会時に一括支払う。

### (役員)

第7条 会に次の役員をおく。役員数は8名以上20名までとする。

#### (1) 役員

代表役員（以下代表と言う）	1名
副代表役員（以下副代表と言う）	2名
会計担当役員	2名
一般役員	若干名
アドバイザー	若干名
会計監査	2名

- (2) 役員は、定時総会において正会員の中から選任する。役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- (3) 役員に欠員が生じた場合は、前項の規定に拘わらず、定例会の決議により正会員の中から補充選任することができる。  
この場合、補充役員任期は、他の現任役員任期満了の時までとする。



(役員職務)

- 第8条 役員職務は、次のとおりとする。なお、役員は組織を維持するために会の業務執行の責任者を定めたものであり、地位、権限を示すものではない。全ての会員は、会に依って立つボランティア精神に基づき、平等の立場で自発的使命感を発揮して、出来る者が出来ることを実行し、役員に依存せず役員職務負担の軽減に努めることに留意する。
- (1) 代表は、会を代表し会務を総括する。
  - (2) 副代表は、代表を補佐し、代表に事故あるときは代表の職務を代行する。
  - (3) 一般役員は、代表、副代表とともに会の運営を担う。  
代表は、会に必要な事項を一般役員に委託、執行させることができる。
  - (4) 会計担当役員は、会の経理を担当する。
  - (5) アドバイザーは、必要に応じて役員会に出席し、会の基本的な企画および検討において助言することができる。
  - (6) 会計監査は、会の会計を監査し、総会で報告する。

(総会)

- 第9条 総会は、定時総会および臨時総会とする。
- (1) 定時総会は、活動年度終了後、毎年1回、4月に開催する。
  - (2) 臨時総会は、定例会が必要と認められたとき、または正会員の過半数の要求がある場合に開催する。
  - (3) 総会は、開催時正会員の過半数の出席（委任状を含む。以下同じ）を以って成立
  - (4) 賛助会員および準会員は、オブザーバーとして出席し、意見を述べることが出来  
ただし、議決を要する事項に関しては、議決権を有しない。
  - (5) 総会の議決は、出席正会員の過半数を以って決する。  
賛否同数の場合は、議長がこれを決する。
  - (6) 総会は、代表が召集する。
  - (7) 総会の議長は、総会において役員以外の正会員の中から選任する。
  - (8) 総会の付議事項は次のとおりとする。
    - ① 活動計画および収支予算に関する事項
    - ② 活動報告および収支予算に関する事項
    - ③ 第7条に定める役員を選任、辞任、解任に関する事項
    - ④ 会の運営のために必要とする規則のうち、総会に付議すべき重要なものとし  
定例会が認めた規則の制定、改廃に関する事項
    - ⑤ 正会員の過半数により総会の付議事項とする要求があった事項
    - ⑥ その他定例会が必要と認める事項
  - (9) 総会議事録には、議長および代表が署名する。保管は事務局とする。

(役員会)

- 第10条 会の基本的な企画検討を行うため役員会をもうける。
- (1) 役員会は、代表、副代表、会計担当役員および一般役員で構成する。
  - (2) 役員会は必要に応じて代表が招集し、代表が議長となる。
  - (3) 役員会では、総会の議決に基づいた事業の執行にあたるほか、総会に付議すべき  
事項及びその他必要な事項を協議する。
  - (4) 役員会議事録を作成し、事務局が保管する。

(定例会)

- 第11条 活動を円滑に運営し、計画を実施するための協議活動機関として定例会を設置する。
- (1) 定例会は、会員全員を以って組織する。ただし、賛助会員および準会員は、議決要する事項に関しては、議決権を有しない。
  - (2) 定例会の議長は、代表を除く役員が順に当たる。
  - (3) 定例会は、原則として、6、9、12、3月の第二土曜日の9時30分から11時30分まで開催する。
  - (4) 定例会の決議は、出席正会員の過半数を以って決する。賛否同数の場合は、議長がこれを決する。
  - (5) 定例会の付議事項は、次のとおりとする。
    - ① 総会開催に関する事項の検討・決議
      - イ。活動計画案および収支予算案
      - ロ。活動報告案および収支決算案
      - ハ。その他総会開催の目的事項
      - ニ。総会開催日の日時、場所
    - ② 活動の具体的な実施に関する事項の検討・決議
      - イ。清掃作業の実施に関する事項（作業参加者、責任者の確認等）
      - ロ。第7条第3項に定める補充役員の選任に関する事項
      - ハ。第12条に定める専門部会の設置、改廃に関する事項
      - ニ。その他会の目的の遂行に関する事項
    - ③ 代表、各担当役員並びに専門部会からの月例報告およびその検討・承認
    - ④ その他定例会が必要と認めた事項に関する報告・協議・決定
  - (6) 定例会議事録を作成して、事務局が保管する。

(専門部会)

第12条 会は、必要に応じて研究・調査・学習・実践のための専門部会を設けることができる。

(清掃作業)

- 第13条 会の主要な活動である葛川の清掃作業を次のとおり実施する。
- (1) 清掃作業は、原則として、3月から11月までの第一および第三土曜日の9時30分～12時まで実施する。
  - (2) 雨天、強風および前日までの降雨その他の事情で作業が危険であるときは、作業
  - (3) 作業責任者は、活動記録を二部作成し、二宮町環境課と事務局に提出する。

(会計)

- 第14条 会計に関する事項を次のとおり定める。
- (1) 会の活動に要する費用は、会費等、寄付金その他の以ってあてる。
  - (2) 会計年度は、活動年度と同一とする。

(活動年度)

第15条 会の活動年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(会則の変更)

第16条 この会則の変更は、総会又は定例会、役員会において決する。

付 則

(実施期日)

第1条 この会則は、平成14年（2002年）1月12日から実施する。

(会則の変更)

- 1：第7条（1）の総務・広報・渉外・会計担当幹事1名を複数名に変更。 平成14年4月13日
- 2：役員会設置ほか大幅変更。 平成15年4月12日
- 3：第3条（2）、第4条、第7条（1）、第11条（3）、第16条を変更、  
第5条（5）を新設、第8条（5）を新設し以下の号を繰り下げ 平成16年6月12日

「葛川をきれいにする会」会員名簿 平成20年3月15日現在 順不同・敬称略

正会員氏名	役職	学生会員	賛助会員
今津 義夫		新井 皓太	(術)A・S・A・タケハラ・
小山内克豊		五十嵐一基	(術)マツモト・工藤行雄・
鏡味 昭泰		宇田 康平	石井 修
門脇 義昭	副代表・事務局長	川崎 貴徳	池田 宏
川野 泰明		川崎 裕史	井手内 清
桑田 恒男		是竹真太郎	伊藤 洋子
向後 孝明	名誉代表	橋本 直樹	川上 清
小林 弘	代表	原 拓也	佐藤 準
竹原 繁男	アドバイザー	守屋 隆治	原 昭一
高橋 昇三	副代表		原 東三
飛澤 洋子			松岡 二美子
名川 博久			山崎 等
奈良 淑子			田中 克己
野谷 悦	総務		
長谷川芳男			
平本 三男			
藤田 尚士	水質検査		
藤原 幸子	会計		
政金 聡	会計監査		
峯尾 正昭	会計監査		
水谷 英子			
門間 光次			
武藤 伸宏			
小計	23名	9名	13名
総計			45名

## 関係先

(順不同・敬称略)

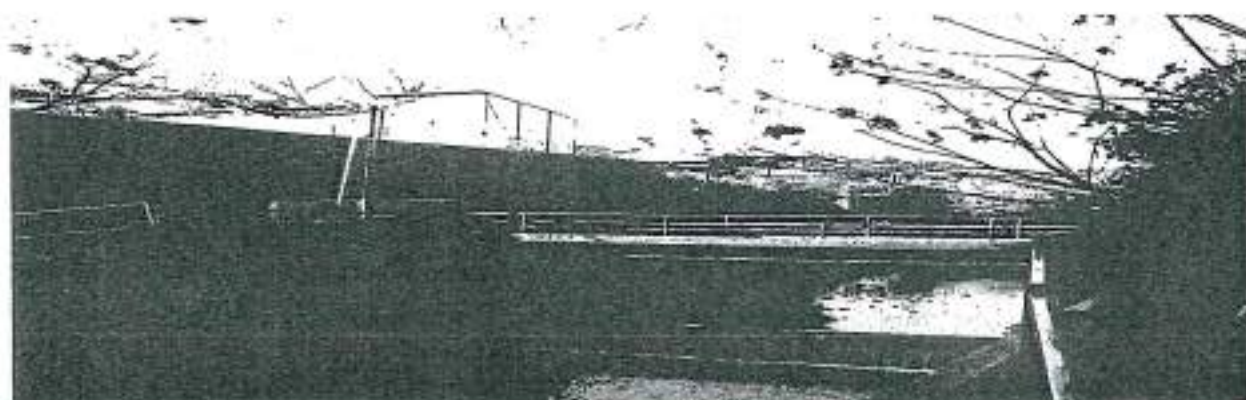
職・氏名	住所・電話・Fax 等	備考
二宮町役場 総務部地域推進課 広報広聴係 協働まちづくり推進係 経済環境部環境課	〒253-0196 神奈川県中郡二宮町二宮 961 電話 0463-71-3311  Fax73-0134 e-mail <a href="mailto:kankyo@town.ninomiya.kanagawa.jp">kankyo@town.ninomiya.kanagawa.jp</a>	
神奈川県平塚土木事務所 河川砂防部河川砂防第一課  課長 千々和 春樹 主査 曾我 聡	〒254-0073 平塚市西八幡 1-3-1 平塚合同庁舎内 電話 0463-22-2711(代表) 内線 4205 Fax 0463-24-0488	
神奈川県環境科学 センター	〒254-0014 平塚市四之宮 1-3-39 電話 0463-24-3311 Fax 24-3300 Eメール <a href="mailto:k-center@k-erc.pref.kanagawa.jp">k-center@k-erc.pref.kanagawa.jp</a> 野崎 隆夫・農学博士	
湘南工科大学 社会貢献活動支援室  手塚・水澤	〒251-8511 藤沢市辻堂西海岸 1-1-25 電話ダイヤルイン 0466-30- 事務 0272 教務 0274 学生 0278 <a href="http://www.shonan-it.ac.jp/">http://www.shonan-it.ac.jp/</a>	
朝日新聞社・平塚支局	〒254-0815 平塚市桃浜町 13-1 電話 0463-35-3246 Fax 35-3285 記者 松本 健造	
ASA 二宮	〒259-0131 神奈川県中郡二宮町中里 988-5 電話 0463-71-1157 Fax 71-7488	
朝日タウンニュース社 平塚支社	〒254-0052 神奈川県平塚市平塚 5-22-15 電話 0463-33-5300 Fax30-1260 E-Mail: <a href="mailto:tn-toyoda@townnews.co.jp">tn-toyoda@townnews.co.jp</a> 副編集長 豊田博美	

## 平成 20 年度葛川清掃スケジュール及び総会・定例会

年	月	日	清掃区間	集合場所
20年	4	.5	田端橋～下北根橋間	下北根橋 一色バス停入る
〃	4	.19	下北根橋～前田橋間	前田橋 一色インターチェンジ
〃	5	.3	前田橋～新西谷戸橋間	新西谷戸橋 コンビニ前
〃	5	.17	小田厚道下～葛川橋間	葛川橋 西友前
〃	6	.7	葛川橋～軒吉橋間	軒吉橋 新幹線際
〃	6	.21	軒吉橋～萬年橋間	萬年橋 旧道・魚屋前
〃	7	.5	萬年橋～妙見橋間	妙見橋 旧道・渡辺落花生店横
〃	7	.19	妙見橋～花月橋間	花月橋 旧道・知足寺入り口
〃	9	.6	花月橋～内輪橋間	内輪橋 ラディアン交差点前
〃	9	.20	内輪橋～新田橋間	新田橋 正栄堂和菓子店前
〃	10	.4	新田橋～鍛冶屋橋間	新田橋 正栄堂和菓子店前 注
〃	10	.18	鍛冶屋橋～塩見橋間	塩見橋 国道1号線上の大橋
〃	11	.1	塩見橋～下浜橋間	下浜橋 二宮中学校下公園横
〃	11	.15	下浜橋～町境	下浜橋 二宮中学校下公園横
21年	3	.7	新西谷戸橋～清水橋間	清水橋・百合が丘入り口・ガソリンスタンド横
〃	3	.21	清水橋～小田厚道下間	小田厚道下
8月・12月・1月・2月は休みです。 雨天・荒天は中止・*予備・延期はナシ 注--- 川への階段がこの区間は有りません・新田橋集合になります				

### 総会・定例会の予定

年・月・日・時間	内容	場所
2008年4月12日 9時30分～12時	定期総会	二宮町社会福祉センター・予定
2008年6月14日 9時30分～12時	定例会	二宮町社会福祉センター・予定
2008年9月13日 9時30分～12時	定例会	二宮町社会福祉センター・予定
2008年12月13日 9時30分～12時	定例会	二宮町社会福祉センター・予定
2009年3月14日 9時30分～12時	定例会	二宮町社会福祉センター・予定



葛川清掃100回記念講演会

主催「葛川をきれいにする会」

開催日 平成20年1月27日(日) 12:00~14:30

会場 二宮町・百合ヶ丘児童館



講師 野崎 隆夫 農学博士



小林代表の挨拶



創設期のお話 向後 初代代表



会員08 坂本孝也氏(現二宮町長)の  
子供時代の葛川のお話



会員08 田中氏・赤羽氏 から思い出話を聞く



学生会員代表 守屋さん  
突然の指名に関わらず堂々と所感述べる

# 「葛川をきれいにする会」清掃100回記念講演会

開催日・時間	2007年1月27日 12:00~14:30	参加者氏名 (順不同・敬称略)
会場	二宮町 百合ヶ丘児童館	歴代会員 (賛助会員含む)
式次第		及び現会員
12:00	<b>開会</b> 司会 門脇 義昭 葛川をきれいにする会・副代表兼事務局長	赤羽 興三郎 福岡 久義 川上 清 藤田 尚志
12:02	<b>ご挨拶</b> 小林 弘 葛川をきれいにする会・会長	鏡味 昭泰 水谷 英子 門脇 義昭 武藤 伸宏
12:10	<b>記念講演</b> 神奈川県環境科学センター 主任研究員・農学博士 野崎隆夫様 神奈川県他地区の河川保護運動団体を (海老名・大和市等)映像で紹介 葛川に生息する生物のお話 又水中昆虫のお話等映像を交えて講演して頂く	向後 孝明 門間 光次 小林 弘 野谷 悦 佐藤 準 高木 信幸 坂本 孝也 奈良 淑子 竹原 繁男 中村 隆一 田中 克己 西園 治雄 飛沢 洋子 原 富士徳
12:55	<b>学生会員 記念品贈呈</b> 代表 守屋隆治	学生会員 関係先
13:00	昼食	曾我 聡 平塚上木事務所
13:30	<b>坂本孝也二宮町町長のお話</b>	和田 隆彦 二宮町役場
13:35	<b>初代代表 向後孝明氏の思い出話</b>	後藤 二宮町役場
13:40	<b>会員OB 田中克己様のお話</b>	築取 正道 百合ヶ丘地区長
14:30	<b>閉会</b> 挨拶 野谷 悦 葛川をきれいにする会 総務担当役員 最後に相模原市から参加の門間様紹介	

取材 朝日新聞社平塚支店松本健造記者 タウンニュース社豊田博美記者

## 湘南

発行所  
〒231-8504  
神奈川県平塚市日本大通15  
番地 電話 046-831-8101  
FAX 046-831-8999  
mail kmag@nccp  
www.nccp.com

湘南支局  
〒251-0252  
藤沢市南藤沢2-5-1  
電話 046-29-4911  
FAX 046-29-4912  
平塚支局 046-221-3300  
三浦支局 045-994-8010  
川崎支局 044-244-4306  
横浜支局 045-882-8211  
鎌倉支局 046-22-1123  
茅ヶ崎支局 0465-25-1788  
平塚支局 0463-35-3246  
厚木支局 042-752-3130

編集・製造の依頼  
TEL 046-12-0843  
平日 7:00~21:00  
土日 7:00~17:00

広告の依頼  
TEL 046-841-5151  
折込の依頼  
TEL 046-227-6861

きょうの天気  
4~14時 曇り時々雨  
15~19時 晴

## 清掃100回 ホタル来た



### 活動7年ごみ大幅減

「活動7年ごみ大幅減」

「活動7年ごみ大幅減」

「活動7年ごみ大幅減」

### 二宮・葛川きれいにする会

「活動7年ごみ大幅減」

「活動7年ごみ大幅減」

「活動7年ごみ大幅減」



### 老耐

「活動7年ごみ大幅減」

「活動7年ごみ大幅減」

「活動7年ごみ大幅減」

### タイ山岳地帯の学校生活映画に

横浜で来月上映



### 老耐

「活動7年ごみ大幅減」

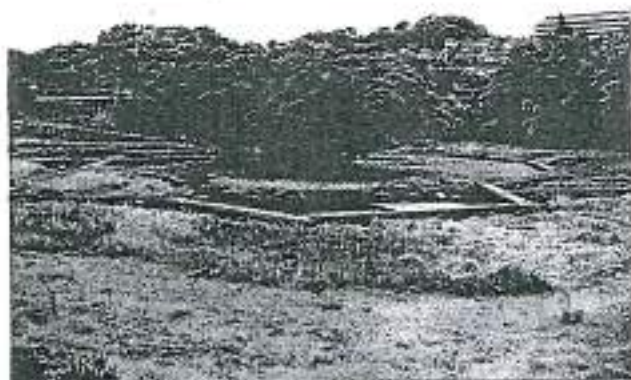
「活動7年ごみ大幅減」

「活動7年ごみ大幅減」

藤田さんの指導で守屋さん（採水）門間さん（相模原から参加）と門脇が参加



地図では中井町井ノ口の「さがみ信用金庫」横で表示が切れている。写真のように暗渠から流れ出ていたがこの先の「砂口」が源との事である。訪問した時この暗渠出口はドブの臭いが立ち込めていた。葛川の水源地の一つである鐵島公園の付近もかなり住宅がたてこんできていて水質はかなり悪い。





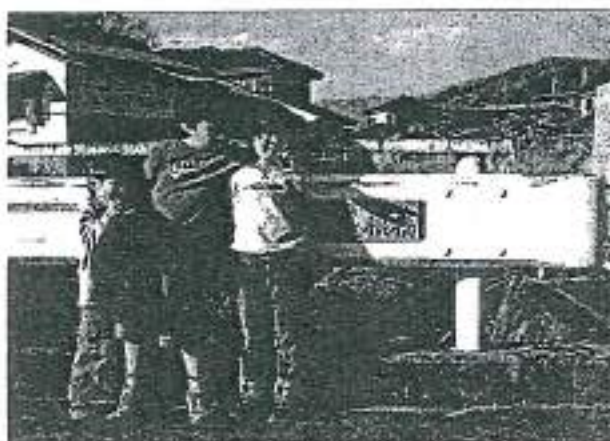
葛川（二宮町内）にかかる、名前の付いた橋



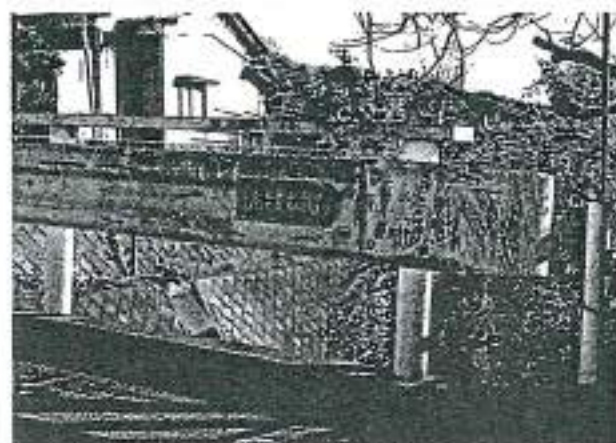
島川に架かる橋 その一



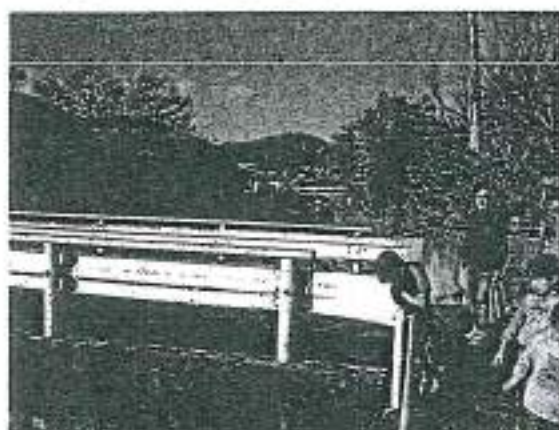
NO 1 田端橋 (中井町)



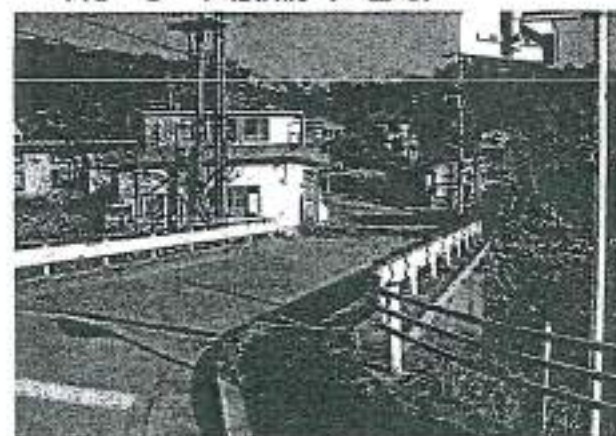
NO 2 上北根橋 (二宮町)



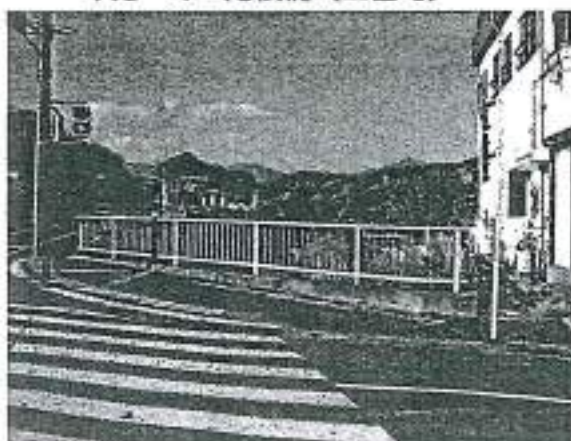
NO 3 下北根橋 (二宮町)



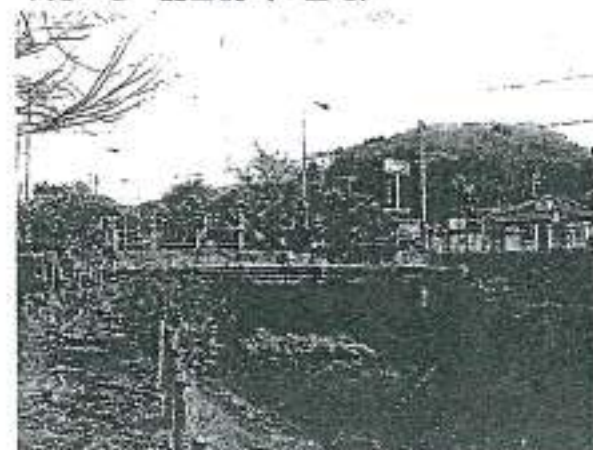
NO 4 向根橋 (二宮町)



NO 5 前田橋 (二宮町)

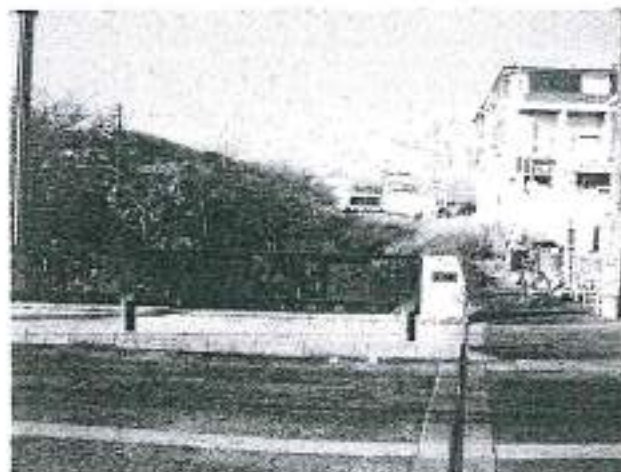


NO 6 西谷戸橋 (二宮町)



NO 7 新西谷戸橋 (二宮町)

葛川に架かる橋 その二



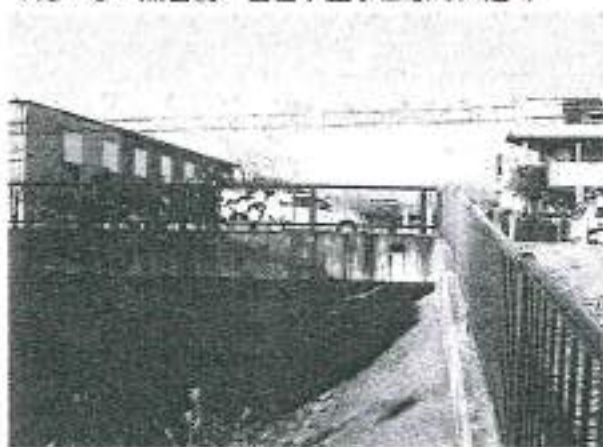
NO 8 清水橋 (二宮町)



NO 9 無名橋 百合ヶ丘小田原ガス近く



NO 11 無名橋 新幹線下 (二宮町)



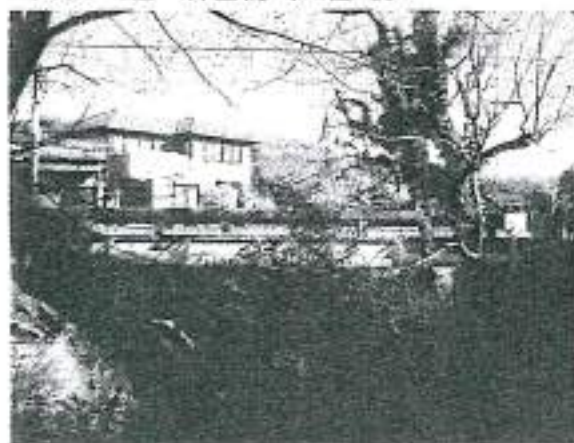
NO 10 葛川橋 (二宮町)



NO 12 軒吉橋 (二宮町)



NO 13 貝ヶ窪橋 (二宮町)



NO 14 万年橋 (二宮町)

# 葛川をきれいにする会

活動記録集 第5号

平成20年4月 発行

## 編集委員

小林 弘	代表
向後 孝明	名誉代表
野谷 悦	総務担当役員
藤原 幸子	経理担当役員
藤田 尚志	調査担当役員
門脇 義昭	副代表・事務局

会計監査	政金 驥
会計監査	峯尾 正昭

製本協力 宇田 康平 川崎 裕史 是竹 真太郎

願不同、敬称略

会・事務局

神奈川県中郡二宮町百合が丘3-26-8

門脇義昭宅

電話 ・Fax 0463-71-9321

kado93@mj.scn-net.ne.jp

# 平成19年度決算書(H19/4~H20/3)

平成20年 3月 22日

葛川をきれいにする会  
会計担当 藤原 幸子

## 積立金の部

項目	予算	実績	内訳
前期繰越金	250,000	250,000	
積立金取崩	△100,000	△20,000	
合計	150,000	230,000	

## 収入の部

項目	予算	実績	内訳
前期繰越金	△347	△347	
積立金より繰入	100,000	20,000	
正会員会費	30,000	42,000	21名×2000円
賛助会員会費	37,000	35,000	11名分
助成金	71,000	227,700	町助成金91200 県平塚土木より136500
利息	10	294	
その他	0	11,300	門脇様800 高橋様5000 ポラ運より3500 講演謝礼金2000
収入合計	237,663	335,947	

## 支出の部

項目	予算	実績	内訳
会議費	16,000	14,250	コピー代410 会議室使用料4050 飲物4790 葉書代5000
広報費	50,000	150,445	ポラ運会費3000 ポラ運交流会2700 ポラ運展示会プリンターインク・用紙10880 水質検査研修会昼食代・コピー代5026 会員拡充昼食代6460 プリンターインク13260 清掃100回記念行事 葉書8000 図書カード33000 花代5250 弁当・お茶61669 会議室使用料1200
事務費	15,000	8,808	切手代2180 コピー代390 用紙1028 封筒・便箋5210
事務局費	5,000	5,000	
活動記録集	50,000	46,191	色画用紙3360 製本時昼食代8001 カラーコピー15600 用紙6000 RPマスター13230
清掃作業			
①作業用具	5,000	0	
②飲物	40,000	36,360	
③交通費	10,000	5,800	
水質測定費	9,000	11,251	昼食代5468 ガソリン代2600 温度計3183
水生動物調査費	9,000	18,768	昼食代2468 ガソリン代1500 魚網12800 箱メガネ2000
その他	20,000	34,440	講演謝礼金1440 渡辺慶博氏慶博士祝金3000 水質浄化費20000 守屋様卒業祝金10000
小計	229,000	331,313	
次期繰越金	8,663	4,634	
支出合計	237,663	335,947	

